



2022年4月18日

株式会社立花商店 生田 渉

(新) 週刊カカオニュース第68号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

1. 世界のカカオ磨砕数量は前年同期比4%増の見通し：マレックス社レポート(4/14)

世界のカカオ豆の磨砕数量は2022年1～3月期に前年同期比4%増となる予測で、これまでのほぼ予想通りだとマレックス・フィナンシャルの農業共同責任者ジョナサン・パークマンは述べた。

まず、この磨砕数量の成長の大部分はアジアからもたらされている。

- マレーシアの加工は第1四半期に前年同期比7.7%増となった。
- アメリカやアジアでチョコレートによく使われるココアパウダーやココアバターの代用脂であるパーム油などの植物性価格上昇及び、インフレによる生活費危機が今後のアジアの成長リスク

- 欧州でもパンデミック回復に伴い、チョコレート需要が高まっている。パークマン
- しかし、欧州市場は成熟しているため、成長は緩やかなものになると思われる。
- 欧州ココア協会のデータによると、第1四半期の欧州地域での磨砕数量は前年同期比4.4%増。
- ヨーロッパで販売されるチョコレートのほとんどは植物性油脂が使用されず、ココアバターとカカオリカー（カカオマス）で作られており、その価格は比較的横ばいで推移しています。
- 粉乳価格の高騰は、欧州のチョコレートメーカーがより高いカカオ含有量を使用する動機付けとなる可能性がある。
- ヨーロッパではカカオの消費量が若干増えるかもしれないが、だからといってチョコレートをもっと食べるようになるとは思えないが、ただ、チョコレートに含まれるカカオ成分の含有用が増える可能性は十分にある。

2. 欧州市場の第1四半期のカカオ豆磨砕数量は前年同期比4.4%増(4/13)

欧州ココア協会は、第1四半期の欧州産カカオ粉砕量は4.4%増の37万3498トンとなったとホームページで報告した。この数字は過去10年以上で最も高い数値である。

*カカオ豆の磨砕数量とは、チョコレートやその他の菓子の原料となるカカオマス、ココアバターやココアパウダーに加工された豆の量を測定し、主にカカオの需要の指標とするものである。

3. マレーシア第1四半期のココア粉砕量は前年同期比7.7%増：ココアボード(4/14)

マレーシア・ココア委員会とココア製造者グループが木曜日に電子メールで発表した声明によると、第1四半期の加工量は前年同期の83,990トンに対して7.7%増の90,424トンとなった。一方で、22年の第1四半期の粉砕量は2021年第4四半期の101,544トンから前期比の11%減少となった。

4. COCOBOD 再生したカカオ農園を農家に引き渡しへ(4/15)

ガーナ・ココア委員会 (COCOBOD) は、リハビリテーションされたカカオ農園の管理を農園主に引き継ぐ作業を間もなく開始する予定です。これは、COCOBOD と政府の出資によるカカオ再生プログラムのもと、数百エーカーのカカオ腫脹性シュートウイルス病 (CSSVD) に感染した農園の 2 年にわたる再生が成功したことを受けてのことです。COCOBOD の最高責任者であるジョセフ・ボアヘン・エイドゥ氏は、西部地域ベクワイ地区クミクロムの 145.8 ヘクタールの復興したカカオ農園を視察し、この発表を行いました。



この視察は、2 日間にわたる西部北地域のカカオ農家の視察の一環として行われました。また、最高経営責任者は、地域のいくつかのカカオ道路プロジェクトの進捗状況を確認する機会でもありました。クミクロムでのカカオ農家との交流の中で、彼は、リハビリテーションプログラムの初期の受益者が彼らの農場の世話を引き継ぐ時期であることを明かしました。

彼は、農園が環境に悪影響を与えることなく最適な生産能力を発揮できるよう、農学とアグロフォレストリーの優れた実践を厳守するよう農家に求めました。2020 年にナナ・アド・ダクワ・アクフォ・アド大統領によって正式に開始された「国家カカオ再生プログラム」は、カカオ農園における CSSVD の急速な広がりを抑制するために COCOBOD が考案したものです。そのプロセスは、まず発病した農園のカカオの木を伐採し、薬剤処理を行うことから始まります。その後、耐病性が高い・早生・高収量品種のカカオに植え替えられます。

2 年間のリハビリ期間中、COCOBOD は農園でのすべての活動費用と人件費を負担しています。また、リハビリ中の感染農場を持つ農家には、1 ヘクタールあたり 1,000 ガーナセディを支給している。借地権の場合は、被害を受けた借地人農家とその土地所有者の双方に補償が行われる。

2017 年に実施された調査では、西部北地域のカカオ農園 509,295.53 ヘクタールのうち半分以上が感染しており、全国では総面積 190 万ヘクタールのうち 315,886 ヘクタールが CSSVD により失われていることが判明しました。その結果、西部北地域のカカオ生産量は 2010/2011 年の 33 万トン以上から 15 万 4,000 トンに減少しました。

このプログラムは、病気の蔓延を食い止め、荒廃した農場の生産性を回復させるという第一の目標に加え、カカオ農家の生活を保護し、カカオの木が成長する最初の 2 年間にプランテン、塊茎、穀物を植えることでより良い食料安全保障を確保することにも役立っています。また、カカオ農園の復旧に労働力と技術支援を提供するカカオコミュニティの若者のために、何十万もの雇用が創出されました。

5. カメルーン、2021-2022年のココア生産量は前年比20%増と予測(4/14)

カカオ開発公社のジャン・クロード・エコオ・アクアファン局長は首都ヤウンデで記者団に、2年以上前に農家に贈った高収量植物の果実が効いて、2021-2022年クロープのカカオ豆生産数量は、2020-2021年の29万2000トンから20%程増加するとの予測を発表した。

2019-2020年シーズン、カカオ生産者は500万本の政府認証のカカオの苗を受け取った。財務省によると、国は民間の苗床から580万本の苗を認証し、25.5ヘクタールのカカオ種子農園を修復し、51,000ヘクタールの農園を真菌の攻撃から処理したとのこと。

6. JB COCOA社の決算報告書より、2021年は増収減益に(4/13)

シンガポール市場に上場しているJB COCOA社は2021年度の決算を締めて、その結果を公表した。売り上げは前年対比107%増加で448.8百万米ドル(約560億円)、営業利益が29.6百万米ドル(約37億円)、経常利益が18.4百万米ドル(約23億円)となった。独立系のカカオ磨砕業者として、マレーシア、インドネシアの2工場を中心として、また中国に工場、エストニアも販売倉庫、物流拠点があり、現在はコートジボアールに工場を建設予定であり、拡大を続けています。

FINANCIAL RESULTS (USD' million)	FY2021	FY2020	FY2019	FY2018	FY2017
REVENUE	448.8	417.8	352.5	327.1	295.6
EARNINGS BEFORE INTEREST, TAXES, DEPRECIATION, AND AMORTISATION	29.6	34.3	43.0	41.6	24.1
PROFIT BEFORE TAX	18.4	22.5	31.7	34.1	16.9
PROFIT ATTRIBUTABLE TO EQUITY HOLDERS OF THE COMPANY	13.9	19.4	26.2	26.8	14.2

FINANCIAL POSITION (USD' million)	FY2021	FY2020	FY2019	FY2018	FY2017
NON-CURRENT ASSETS	109.8	114.2	95.9	75.4	63.2
CURRENT ASSETS	338.6	268.9	268.7	172.9	134.4
CURRENT LIABILITIES	(259.1)	(204.3)	(213.3)	(120.8)	(110.6)
NON-CURRENT LIABILITIES	(22.4)	(22.1)	(9.9)	(5.4)	(2.9)
SHAREHOLDERS' EQUITY	166.9	156.6	141.4	122.1	84.1
CASH AND BANK BALANCES	27.9	20.5	16.6	13.4	15.6

7. ガーナ COCOBOD、2020年度に4,200万ユーロの損失を計上(4/13)

ガーナ・ココア委員会(COCOBOD)は、コロナウィルスの大流行が生産と購買に与えた影響が大きいとして、2020年度の会計では、前年同期比102.85%減の4214万GHS(550万ドル)の当期損失を計上したと、Joy News社は報じています。

また、COCOBODは、2019年の利益率0.20%に対し、0.24%の純利益率を記録した。しかし、2020年の総収入は、1トンあたりのカカオの平均輸出価格(2,477ドル)の上昇を背景に、前年比5.42%増の107億4,100万GHSに上昇した。

カカオ豆の生産量は 775,488 トンであり、予想の 850,000 トンに届かなかった。販売された豆は 773,378 トンにとどまりました。

この不足は、病気や病的なカカオの木のストックと、作期中の比較的長い乾燥した天候に起因すると Joy News は報じている。

報告書によると、COCOBOD は短期債務の返済期限を迎えるにあたり、その支払いが困難になる可能性があるという。

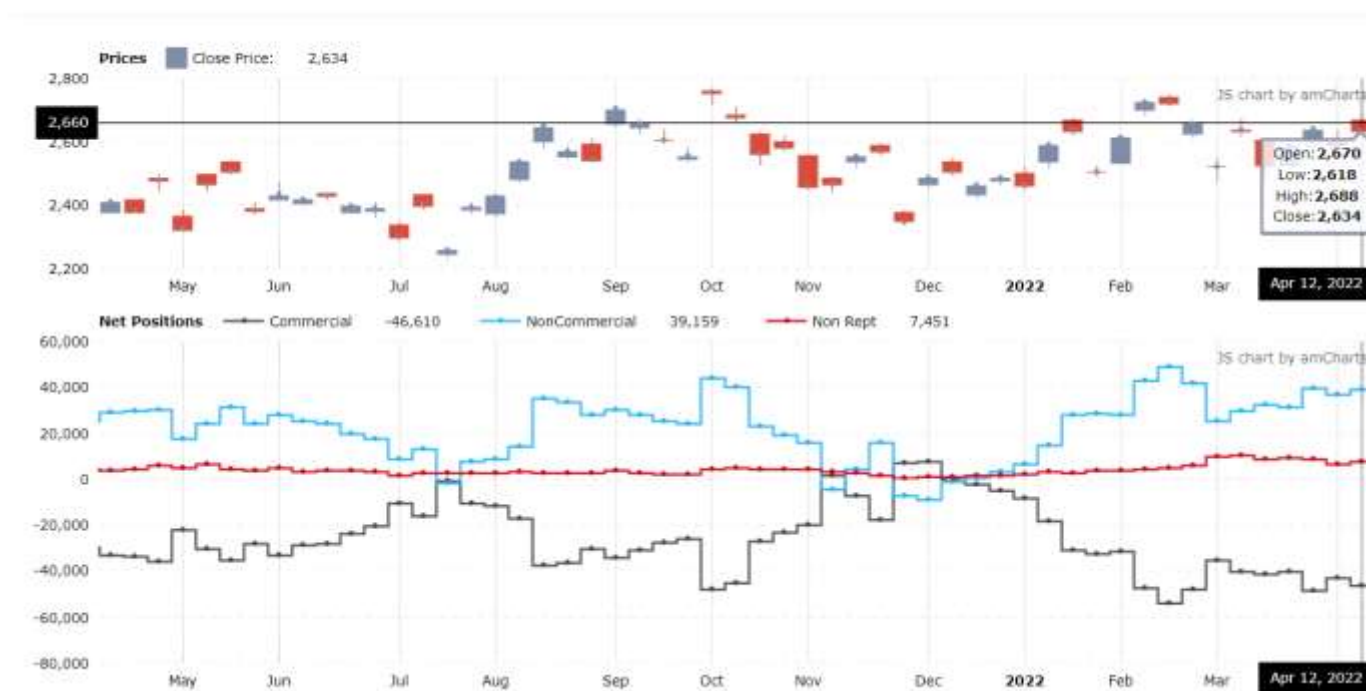
8. ファンド勢のNY先物は純買い越しポジションが増加で7週ぶり高水準(4/13)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 3,123 ロット増加 (先週は 2,381 ロット減少) させ、33,302 ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、4月12日) の取引が含まれている。

- 純買い数量は、過去7週間で最も多い数量。
- 総買い数量は 3,009 ロット増加 (先週は 2,010 ロット減少) し、59,670 ロット となった。
- 総売り数量は 114 ロット減少 (371 ロット増加) し、26,638 ロット となった。

参考分析資料；過去1年のNY市場の実需家VS投機筋のポジションと相場価格

Prices & Net Positions



黒線・・・カカオ磨砕業者やチョコレート製造会社など実需家

青線・・・ヘッジファンドやコモディティETF等の金融のみのプレイヤー

9. トレンド情報：クラフトチョコレート専門店「chocobanashi」

～広島 T-SITE にて ポップアップストア出店～

奈良県五條市の新町通りで100年続いたお餅屋さん“餅商一ツ橋”。店主の高齢化により閉店し空き家となっていた店舗を活用し、地元出身の若手起業家が立ち上げた会社・イトバナシ (代表者：伊達文香) は、カカ

オ豆からつくるクラフトチョコレート専門店 「chocobanashi 一ツ橋チョコスタンド店」を今年2月にオープンさせた。



元々2017年に設立され、今までは途上国（インド）の刺繍を用いた婦人服のデザイン・制作・販売などをするアパレルブランドを運営してきた同社。経営理念である「つくる人とつかう人の暮らしが豊かになるモノづくりを行い社会に貢献する」ということと、「餅商一ツ橋」が守り続けてきた地域に根付くおやつ文化を引き継いでいきたいという思いから今回、チョコレート店をOPENするに至った。



自家焙煎のカカオ豆と砂糖のみで作られるチョコレートは、カカオ豆本来の豊かな香りと深い味わいを楽しむことができる。

*説明および写真は下記プレスリリースより

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001009.000009848.html>

*Instagramはこちらから

[@chocobanashi](https://www.instagram.com/chocobanashi)

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。 株式会社 立花商店 生田 w-ikuta@tachibana-grp.co.jp

*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではありません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。